

二本松市教育委員会会議録

令和5年11月24日午後1時10分二本松市教育委員会定例会議を二本松市役所教育委員会室に招集した。

○会議に出席した委員は次のとおりである。(発言内容を簡略化)

教 育 長	丹 野 学
教育長職務代理者	佐 藤 英 之
教 育 委 員	関 奈央子
教 育 委 員	関 健 至
教 育 委 員	太 田 左恵子

○会議に説明のため出席した職員は次のとおりである。

教 育 部 長	内 藤 徳 夫
教育総務課長	大 内 真 利
学校教育課長	太 田 孝 志
生涯学習課長	関 博
文化課長	本 田 俊 広

○教育長（丹野） ただいまから令和5年二本松市教育委員会11月定例会を開会いたします。

(宣言 午後1時10分)

○教育長（丹野） これより会議に入ります。

委員の出席状況を報告します。現在の出席者は5名であります。会議の定足数に達しておりますので、本会議は成立いたしました。

次に「2 会議日程の決定」ですが、会議が終了するまでといたします。

続きまして「3 会議録署名人の決定」ですが、佐藤英之教育長職務代理者と関健至委員の2名を指名いたします。

それでは、「4 前回会議録朗読承認」を事務局よりお願いします。

(事務局より、令和5年10月26日の定例会の会議録を朗読)

○教育長（丹野） 以上報告終わりました。これについて皆様よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長（丹野） それでは、10月の会議録については承認することよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長（丹野） ただいまの会議録についてはご承認いただきました。

本日の定例会は教育長報告12件、議案2件、協議事項2件を予定しており

ます。それでは教育長報告に入ります。「1 市議会12月定例会について」事務局より説明願います。

(事務局より説明)

○教育長(丹野) 以上で説明が終わりました。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長(丹野) では、次に移ります。「2 令和5年度二本松市障がい児就学指導委員会審議結果について」事務局より説明願います。

(事務局より説明)

○教育長(丹野) 以上で説明が終わりました。なお正式決定後、委員会でその旨報告をさせていただきます。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長(丹野) 次に「3 二本松市任期付短時間勤務指導主事(教員)の採用方針について」事務局より説明願います。

(事務局より説明)

○教育長(丹野) 以上で説明が終わりました。結果については決定後学校教育課長より報告いたします。よろしいでしょうか。

(「はい」の声)

○教育長(丹野) では次に「4 第54回東和ロードレース大会の開催結果について」報告になります。

(事務局より説明)

○教育長(丹野) 以上で説明が終わりました。教育委員会主催の大会ですので、生涯学習課長より成果と課題について説明をお願いします。

○生涯学習課長 コロナ明けで今年は制限なく全国から応募を募ったところがございます。ただ、11月は他のマラソン大会等数多く開催される時期であります。それにもかかわらず1000人以上の参加者が東和ロードレースにお出でいただいたというのは、大変ありがたいことでございます。

これからのロードレースを考えていく上で、6割ほどが市外からの参加者となっておりますが、小学生中学生部門は市外から参加いただけない部分があります。その部分を考慮しながら、今後どのように進めて行くか、課題と考えているところであります。また、東和地域の小中学生は全員参加いただいておりますが、走ることが不得意なお子さんもいるとのことで、その解消も今後の課題のひとつと考えているところであります。

○教育長(丹野) ありがとうございます。よろしいでしょうか。いまの課題を踏まえ、次年度どうするかについて、主管課で考え、その上で教育委員の皆様からのご意見等があれば主管課長に直接か、委員会の中でお話いただければと思います。

次に「5 第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会の結果について」事務局より説明願います。

(事務局より説明)

○**教育長(丹野)** 以上で事務局説明が終わりました。3位と4位二本松市のタイム差が7分あり、これを埋めるのはなかなか難しいのかなと思います。ただ、人口規模の大きい福島市に勝ったというだけでもすごい、素晴らしいことと思っております。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**教育長(丹野)** 次に「6 二本松市教育委員会行政視察実施結果について」事務局より説明願います。

(事務局より説明)

○**教育長(丹野)** ここで、委員の皆様から今回の視察結果について、特に共有すべきと思われるところなど発言いただければと思います。よろしく願いいたします。

○**佐藤英之教育長職務代理者** 霧が丘学園は小中並んでいて、多分始まった時には6-3制ではなくもう少し区分しようとするのが今の形になったのかなと思ひ視察しました。単純な学年区分ではなかなかうまくいかないのかなと改めて感じました。説明を受けながら、二本松市のことを考えれば、義務教育学校の取組と似た取組は各中学校単位でかなり行っているのだろうということも感じました。例えば授業交換・教科部会なども授業参観をして一緒に協議したり等各学校単位で行っていることなので、その様なことを進めて行けば将来的には義務教育学校に進んでいくのではと思いました。

また、義務教育学校を立ち上げるときは条件整備がかなり必要なのだろうということと、カリキュラム等しっかり捉えながら進めて行く、下準備や共通の考え方を徹底的に説明しなくてはならないのかなと感じてきました。

○**関奈央子委員** 佐藤代理者のお話のとおり、校舎は隣り合っていますが、小中学校の行き来が限られた時間でしか、年数回のふれあい体験等しか無くて、先生の説明があったように中学生にとって小学生と触れ合うということは、優しくなれる等良いことが多いのに、もう少し日常的に触れ合えるような条件整備が必要だということと、先生方の色々な負担ということを見ると、最初しっかりしたカリキュラムを整備しないと大変なんだということが分かりました。

○**関健至委員** 市役所に行ったとき、義務教育学校を作る際、地域説明に何年もかかったという話を聞き、二本松市では地域色が強く、段取りを経て進めないと大変なことになるのではと感じたことと、併設ではなく小中一体型で実施すればもっと可能性が膨らむのでは、と思いました。

○**太田左恵子委員** 初日しか参加できなかったのでレポートを纏めて来ました。

ここに書いて無いことで言うと、教室内で空いている机が多く感じ数えてみたが、たいていのクラスで4～6人空いていて、不登校か休みか分かりませんが二本松市と比べるとものすごく多い数でびっくりしました。子どもを育てるなら地方に限る、心を育て学力を伸ばしていくのは地方なんだ、田舎は良いなと感じて帰って来ました。田舎だからこそ可能性あることもできる、義務教育学校も、あまり都会を参考にしないで我々田舎者で決めていくのが良いのかなと感じました。

○教育長（丹野） 今、レポートを読みながら太田委員のお話を聞かせていただきましたが、なるほど、同じようなことを感じているな、と感じました。特に太田委員のレポートにある通り、準校長というのは校長と同じで、小学校は小学校、中学校は中学校ということで一貫したことは何があるのか、二本松市で義務教育学校の導入を考えるとときにはその点は重要だと思います。

また、関奈央子委員の仰るように先生方が基本的に同じベクトルで動いているかはカリキュラムにかかっているもので、それがしっかりしていないとバラバラになってしまうということは凄く感じました。そういう意味ではやはりカリキュラム作成に時間を掛ける必要があると思ったところであります。

この件については、今後も色々な場面で話題になると思います。太田委員のレポートも非常に良くまとまっておりますので、後でもう一度目を通して情報を共有していくということで進めて参りたいと思います。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（丹野） 次に「7 朝河貫一生誕150周年記念企画展の開催結果について」報告願います。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 今説明がありました通り、入館者数が7800人程ということが多いのか少ないのか、それぞれの捉え方が違うと思いますが、朝河貫一先生を知っていただくということで、1日あたり100人程の方が入館いただいたということは大きな意味があったと感じております。

今回は県の朝河貫一博士顕彰協会に大きなご協力をいただいて開催できたということですので、感謝を申し上げてきたところであります。以上です。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（丹野） 次に「8 智恵子の生家・記念館秋季自主事業「高村智恵子レモン祭」の開催結果について」報告願います。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 今説明ありました通り、2階で智恵子さんの影絵がぼんやり映し出されましたが、インパクトが強く、民報で1面、民友で2面に紹介され

ました。また、ライトアップを見ても、智恵子の生家の中にも明かりを設置して幻想的な雰囲気を作り出したりして、今までも良くやって来ましたが、今回はセンスが良いなど、こういうことをSNSとかで発信するとより多くの人に来るのかな、と改めて若い人の発想力、凄いなと思いました。

太田委員は見に行ってくださいましたが。

○太田左恵子委員 あれはなぜ一日だけだったのですか。

○文化課長 今回の目玉ということもあり、智恵子さんの命日にだけ、特別蘇りをさせるということで実施させていただきました。その後11月6日からは、生家内に和紙での照明を配置しながら第2部的なところで実施しました。今回は10月5日の命日だけ、ということで企画をさせていただいたというところでございます。

○太田左恵子委員 もし長く続けると「あれが良いから行ってご覧よ」と言えるので、もう少し長い期間実施してもらえればと思いました。1日だと皆にお知らせ出来ないなので、良い仕事は自信をもって行ってください。

○教育長（丹野） 今の太田委員と課長とのやり取りを見ても分かりますが、ギャップがあるんです。凄いことを行ったのですが、1日だけではもったいない。あの発想力がものすごく人の心を惹きつけていることを考えると、色々な状況を考えなくてはなりません、かなりインパクトが大きいので、ぜひ次年度に向け検討いただければと思います。

○文化課長 貴重なご意見をいただきました。次年度に向け企画をしてきたいと思います。ありがとうございます。

○教育長（丹野） それでは次に移ります。「9 令和5年度二本松歴史館企画展について」報告願います。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 以上説明が終わりました。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（丹野） 次に「10 その他 (1) 安達学校給食センター改修工事に伴う給食の提供について」報告願います。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 以上説明が終わりました。なお、今年度中に各学校長とPTA役員に説明し、後は保護者各位に通知を行い、説明会は行わないことといたします。給食センターが機能を果たせなくなり、給食が出来なくなるということ为了避免のために改修工事を行いますので、ご理解いただけるかと考えております。ご承知おき願います。

○佐藤英之教育長職務代理者 油井小と渋川小の代替給食は、主食分はこれまで通り、給食費負担もこれまで通りという事でよろしいでしょうか。

○教育長（丹野） そのようになります。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（丹野） 次に「10 その他（2）二本松南小学校校舎長寿命化改良工事の完成について」事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 以上で説明が終わりました。過日二本松南小・北小ともに創立150周年記念式典があり、私は南小の式典に出席しました。創立150周年となっておりますが、実際南小と北小は藩校「敬学館」から続いておりますので、本当は今年で200年と説明したらびっくりしておりました。それほど由緒、伝統のある学校は無いということで、皆さんもっと自信を持っていただきたいと話をいたしました。1月9日、3学期の始業式がありますが、この日は校長先生ともお話をして、子どもたちに校舎も新しくなるので新しい気持ちでやっっていこうということで私から伝えるため、始業式に出席する予定です。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（丹野） 次に「10 その他（3）安達地方特別支援学校進入路新設工事の完成について」報告願います。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 事務局の説明が終わりました。ご承知おき願います。よろしいでしょうか。

（「はい」の声）

○教育長（丹野） ここで1件追加させていただきます。協議事項の中から、「令和6年二十歳のつどいについて」事務局よりお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 説明が終わりました。役割分担のところですが、二本松会場の記念品贈呈は教育委員からとして、関奈央子委員の対応でよろしいのではないのでしょうか。

○関奈央子委員 分かりました。

○教育長（丹野） 今回、各会場に教育委員が別れて参加いただくこととさせていただきますが、支障はございませんか。よろしいですね。

（「はい」の声）

○教育長（丹野） では、了解いただいたということで、教育長報告を終わります。続いて提出議案に入ります。「議案第27号 教育委員会関係条例の制定について」事務局の説明を求めます。

（事務局より説明）

○教育長（丹野） 事務局の説明が終わりました。いかがでしょうか。

(「なし」の声)

○教育長(丹野) それでは採決いたします。「議案第27号 教育委員会関係条例の制定について」、同意することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長(丹野) ありがとうございます。「議案第27号 教育委員会関係条例の制定について」は原案のとおり可決いたします。

続いて「議案第28号 令和5年度教育委員会関係補正予算について」事務局の説明を求めます。

(事務局より説明)

○教育長(丹野) 事務局の説明が終わりました。ご質問等ありますでしょうか。

(「なし」の声)

○教育長(丹野) それでは採決いたします。「議案第28号 令和5年度教育委員会関係補正予算について」、同意することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長(丹野) ありがとうございます。「議案第28号 令和5年度教育委員会関係補正予算について」は原案のとおり可決いたします。

以上を持ちまして提出議案を修了いたします。

続いて協議事項に移ります。「1 次期教育委員会の開催日程について」、「2 今後の日程について」事務局よりお願いします

(事務局より説明)

○教育長(丹野) 2件説明が終わりました。よろしいでしょうか。

○太田左恵子委員 新年会ですが、参加者はどのようになりますか。

○教育総務課長 教育委員及び教育委員会に属する職員、出先の公民館職員も含めて合同で開催をしております。

○教育長(丹野) よろしいでしょうか。

(「はい」の声)

○教育長(丹野) それでは以上を持ちまして、令和5年二本松市教育委員会1月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

(宣言 午後2時19分)

本委員会での議決事項は次のとおりである。

- (1) 議案第27号 教育委員会関係条例の制定について (原案可決)
- (2) 議案第28号 令和5年度教育委員会関係補正予算について
(原案可決)

上記は会議の次第を記載し経過及び決定に相違ないことを証するため署名する。

令和5年12月21日

教 育 長

会 議 録 署 名 人

会 議 録 署 名 人